平成２３年　５月２６日

通告番号　１　番

平成２３年　５月２６日　午前　８時３０分　受付

２１番　氏名　松野　豊

流山市議会議長　様

緊急質問通告書

下記のとおり通告します。

質疑事項	要旨
１　震災後の諸問題について	（１）放射能の影響及び対応について ア　市民や関係団体からの主な意見や要望、問い合わせはどのようなものがあるか。 イ　５月１７日付で東葛６市市長の連名で県に対して東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う要望書が提出されたが、この背景と県からの回答について問う。 ウ　大気中、土壌、農作物、学校のプールなど、放射能汚染に関わる市の対応策について問う。 エ　水道水の放射能値について、その後の経緯について問う。 オ　国や県任せにするのではなく、流山市独自の測定やハザードマップ、被災対策に対する見直しが必要と考えるが、市長の見解を問う。 （２）計画停電の見通しについて ア　今夏の計画停電の見通しについて問う。

千葉県
流山市議会
23.5.26
第　号
受付

平成２３年　５月２６日

通告番号　２　番

平成２３年　５月２６日　午前　８時３０分　受付

２６番　　氏　名　秋間　高義

流山市議会議長　様

緊急質問通告書

下記のとおり通告します。

質疑事項	要旨
１　保育園・幼稚園・学校等の放射能汚染の実態調査について	（１）流山市は、５月１７日に近隣６市と共に、千葉県知事に対して放射線量の測定等について３項目にわたる要望書を提出したが、どのような回答が、得られたのか。 （２）流山市における、保育園・幼稚園・学校等の校庭や園庭における放射能汚染の実態とその対応について問う。 ア　松戸市は、市単独で放射線量測定器を購入し、すでに放射線量の測定調査を実施して、市民の不安に対応している。流山市も早急に放射線測定器を購入し、保育園・幼稚園・学校等の校庭や園庭における放射線量の測定調査を実施すべきと考えるがどうか。 イ　成長期にある子どもへの放射線の健康影響について、保護者は、不安を募らせている。流山市は、保育園・幼稚園・学校等の校庭や園庭において、子どもたちが、体に受ける放射線量が、年間及び毎時、どの程度まで

千葉県
流山市議会
23.5.26
第　号
受付

	ならば、健康への影響が無く、安全であると考えているのか。また、その数値は、どのような科学的根拠に基づく数値であるのか。市当局の見解を問う。 ウ　インターネット等では、関東の放射線のホットスポットとして、流山市、柏市、松戸市等の名前が掲載されており、子育て家庭に多大な心配や不安を与えている。流山市は、風評被害をなくすためにも、放射能等の正しい情報を早く正確にわかりやすく、市民に知らせていくことが大切であり、そのためにも子どもたちが毎日運動する場所でもある、保育園・幼稚園・学校等の校庭や園庭における放射線量の測定結果等をホームページや広報を通して、速やかに市民に対して公表すべきと考えるがどうか。

平成２３年　５月２６日

通告番号　４　番

平成２３年　５月２６日　午前　８　時３０分　受付

２０番　氏　名　小田桐　たかし

流山市議会議長　様

緊急質問通告書

下記のとおり通告します。

質疑事項	要旨
１　市長の政治姿勢について	（１）放射能汚染について ア　『放射能』に対する市長の基本的見解を問う。 イ　放射能汚染を心配する市民の声が広がっていることについて、どう受け止めているのか。 ウ　市として放射能測定を実施すべきと考えるがどうか。 エ　公共施設に放射能測定器を順次設置するなど、不測の事態に備える体制を整えるべきと考えるがどうか。 （２）震災から２ヶ月が過ぎ、今後３ヶ月以内での千葉県直下型地震や近隣地域での地震発生も推測されているおり、６月議会前に緊急的に整備すべき課題について問う ア　３月１１日、帰宅困難者の避難場所が指定管理者となっていることで、様々な問題が浮上した。問題をどう捉え、改善するのか。 イ　今度の地震を契機にして、千葉県直下型地震の可能性も指摘されるなか、市長は巨大地震に備えた新たな対策をどう講じ、今後進めようとしているのか。

千葉県
流山市議会
23.5.26
第　号
受付